

日本共産党 八尾市会議員団

ニュース

八尾市議員
HP



八尾市本町 1-1-1
八尾市役所内
Tel 991-3881 (2796-2797)
2026 年 1 月号 NO. 344

笑顔と希望にあふれた社会を、市民の皆さんとともに共産党議員団は頑張ります。今年もよろしくお願い致します。

追加補正で全会一致可決

水道料金（基本料金）無料など実現

12月定例会が12月19日に閉会しました。物価高騰に消費税と市民の暮らしはますます苦しく厳しい状況が続いています。共産党議員団は市民の生活を守り市民の願いを実現できる市政へ全力をあげています。また、追加補正で実現できた給付金や水道料金の無料など、さらなる拡充を求めていきます。

市民の切実な問題を 議会に取り上げ

12月定例会が終わりました。

前半は個人質問で、インフルエンザ等の予防接種の無料化（非課税世帯）を全市民に知らせ手続きを簡易にする提案を行いました。65歳以上の非課税世帯の方や生活保護利用者の方は無料です。しかし、多くの人はこの制度をご存じありません。

八尾支援学校の老朽化・過密化も深刻な問題となつていきます。民間ごみ収集業者の実態など取り上げました。

保育虐待問題では、一昨年、国にも申し入れを行っていません。

工事着工には賛成
契約のあり方に問題あり

また、空調機が付いていない

12月議会で決まりました！

★市民一人当たり

★子ども一人当たり

★月 660 円/4 ヶ月間

3 千円給付 2 万円給付 水道料金無料



田中ゆうこ議員

後半では、2025年度補正

国の補正予算に伴う 追加議案

学校給食調理場に空調機を整備するための契約が、業者丸投げ（DB方式）により、地元業者への下請けは6%にしかありません。工事そのものには賛成、しかし契約のあり方に問題ありという立場から退場し、議決に参加しませんでした。



おち妙子議員

予算が臨時国会で成立したことに伴う追加議案が行われ八尾市議会でも全会一致で成立しました。

八尾市では、「市民1人3千円の市民応援給付」「子ども1人あたり一回だけの2万円給付」「水道料金（基本料金）減額」が全会一致で可決されました。水道料金無償化は共産党が粘り強く求めていたものです。

まだ10億円の予算が余っており、引き続き給付金の増額や下水道使用量基本料金の無償化、保育や障害、介護事業所などへの応援給付を行うことを求めていきます。1月には臨時議会も開かれる見込みです。

さらなる拡充を 早急に

しかし、高市・自民・維新

日本共産党は、国政でも地方議会でも大軍拡ストップ、消費税減税とインボイス廃止、物価高を上回る賃金の引き上げを求め全力を尽くします。

日本共産党は、以下のことを求めています

- ① 「一人当たり 3 千円」をさらに増額すること
- ② 高齢者へ支援金を支給すること
- ③ 下水道の基本料金（450 円）を合わせて無料にすること
- ④ 訪問介護事業所や医療機関、保育や障がい者施設への応援給付金を実施すること



市民や現場の声を届けました

共産党議員団 採択賛成の立場で討論

★ 請願第17号

小学校、中学校で国の定数基準を超えている学級の解消を求める請願

同じクラスの児童であるのに、特別支援学級に入っているとの理由で通常学級ではカウントされない問題は、「ともに学ぶ」「ともに生きる」という教育の原点から大きく逸脱してしま

す。通常学級でも特別支援学級でもカウント（いわゆる「ダブルカウント」）することは当然ではないでしょうか。

八尾での未実施校

八尾市議会は2020

年、少人数学級の実現を採択し、国の施策でも「小学校全学年で35人学級」とな

っています。八尾市では未だ少人数学級の未実施があり、小学校で11校32学級、中学校では2校12学級が国基準を満たしていません（八尾市教育委員会資料より5月1日）。

少人数学級は、OECD加盟国では当たり前、フイ

★ 請願第18号

子どもの予算を大幅に増やし、保育・学童保育の施策の抜本的改善を求める請願

この市民からの要望は、未来を担う子ども達の豊かな成長発達のための大切な請願です。

子どもの豊かな成長を

この市民からの要望は、

未来を担う子ども達の豊

かな成長発達のための大切な請願です。

子どもの予算を大幅に増やし、保育・学童保育の施策の抜本的改善を求める請願

この請願では、八尾市に



無料制度の告知を

インフルエンザ1200円、新型コロナウイルス7800円合わせて約1万円の予防接種。広く市民が受けられるでしょうか。

ところが、調べてみると65歳以上の非課税世帯の方、生活保護利用者の方などには接種料が無料になる制度があるのです。みなさんご存知でしょうか。ほとんどの人が知りません。

柏原市では、無料の対象者の方に毎年ハガキでお知らせし、そのハガキをもって医療機関に行けば無料で受けられるということでした。八尾市でもぜひ「ハガキ方式」を実施してほしいと求めました。八尾市は「実現可能性を含め調査したい」と答えました。

「補聴器をつけて、みんなの中に入るのが楽しくなつた」と、補聴器購入助成金で補聴器をつけられた方からの喜びの声です。この喜びをもっとたくさんの方に広げるために、予算の増額を求めました。答弁では、「助成対象者へのアンケート結果を踏まえ、今後の事業展開を検討していく」とのことでした。みんなではない声を集め上げていきましょう。

おち妙子議員

田中ゆづり議員

3テーマを取り上げ

今回の個人質問は、3つのテーマを取り上げました。

保育虐待と八尾支援学校の老朽化過密化問題。そして民間ごみ収集業者の実態です。

保育虐待では一昨年、国へ大門みきし国会議員同席で申し入れを行い、保育虐待の通報義務も法律に盛り込まれました。公表も行われていく予定です。

八尾支援学校の現状について、教育長や市長からも「大阪府に声を上げていきたい」と答弁がありました。引き続き改善を求めていきましょう。

昨年、ごみ収集業者が作業員として不法就労の外国人を雇用していたことが発覚し、警察の捜査が入りました。

この業者には自前の社員はほとんどおらず、偽装出向と思われる人員が中心に作業を行っています。徹底的な調査を求めましたが、市はそれを「問題なし」と拒否をしています。

この業者は、市長の政治資金パーティー券を150万円購入している業者です。

個人質問 切実な市民の願い、議会で迫る